

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
1	安心の子育て、頼れる福祉、便利なインフラ、活気ある地域、誇れるまち。これに全部絡んでくるんですけども、今協議会が上郷を活性化しようということで活動してるんですけども、最終的な目標はやっぱり人に住んでもらいたい、人口を増やしたい。で、来てもらうために我々も、いろいろ頑張ろうということなんですけど、やはり一番足りないのがインフラの整備ということで、前から市長にお願いしてますけども、やはり上下水道ですよね。これがやはりすごく、一番遅れてるんじゃないかなと。いわゆる市の方で90%、もう上水道入ってますけども、その残りの10%に入っちゃってるんですね。上郷も含めて、豊里地域なんか。これがやっぱり人が張り付くための足かせとなっちゃって、やはり開発が進んでいけないということで、協議会でもそうだし、集落とかいろんな方と話しても、やっぱり上下水道っていう話なんですね。おかげさまで本管は、ぐるっと繋がったという話も聞いていて、あと2か所ぐらいから今回は、宅地に入ってくるような、そういう取り組みをしてるんだという話を聞いてるんですけど。いかんせん簡易水道が相当老朽化してきてまして、うちの集落あたりでもいつごろパンクするかと、そうするとみんなポンプ取りかえちゃったからもういいやって話も聞くんですよ。そうならないために早急にしてもらいたいのと、あと、逆にちょっと長くなるのであれば、簡易水道の補修とか、そういう維持管理にもう少し補助金を出していただけないかなというのが、活性化も含めてお願いなんです。	もうおっしゃる通りで、いろいろやってもですね、インフラが整っていないことには、なかなかそこに住んでみようかなというのは、きついんじゃないのみたいなお話になってしまうと、よくないと思っていて、だからこそ私就任して、3年後だったと思うんですけど、今までずっと市が30年以上手をつけられなかった水道料金の値上げというのをやらせてもらいました。これは痛みを伴うし、批判もあることですが、でもそういうことをちゃんと整備をしていくためには、やっぱり前の料金では無理なわけですね。でするので値上げさせていただきました。でも議会でもありがたいことに、全会一致で全員が賛成をしてくれて、今まさに上郷の整備を順次しているところです。で、かなり細かいところも含めて、今で言うと今年度着工したのが数箇所あって、沼崎も上郷もですね、それから今やってるところの後に、神谷森とか大山に入っていくという順番にはなっているんですけども、少なくともここを整備をしていくということは示すことができましたので、これを順次ちゃんとやっていきたいなと思っています。 合わせて簡易水道も、いろいろ補助金あるんですけども、やっぱり上水が整備されても維持してるところは、ちょっと我々としてもなかなかサポートをするのは難しいところがあるんですけども、そこに対してはちょっと補助を下げさせてもらって、ただどういう補助をするかというのは、やっぱり今の簡易水道というのは、この水道を整備されるまでの間という位置付けでありますので、一番大事なのは、その簡易水道の組合の皆さんとよく話をして、例えばもう来年通ってわかってるのに今からポンプの更新とかしちゃうともったいなくなっちゃいますので、そういうよく話をしながら、計画を作っていきますし、基本的には要望順に区会からきたものをやってますが、やっぱり接続の順番とか工事の順番とかありますので、ちょっと前後することもありますけれども、でも本当に長年皆さんが本当に苦労されてきた部分だということにはよく認識していますし、市役所の職員にも上郷の職員たくさんいますのでね、なかなか洗濯するにも赤い水出ちゃうなんて話を私もたくさん聞いていますので、大事なことはできるだけ早く上水を整備していくと。その間に本当に必要なところには補助をしていくというようなスタンスで、もうちょっとやらせていただいでですね。そう時間をかけずに、整備を終えていきたいなということを思って、皆で一生懸命やっているところがあります。半世紀ね。本当ですよ。ちゃんと今までのようにわからないというんではなくて、値上げをさせていただいたお金で、ちゃんと工事とあとは管理をしていくという方針を作りましたので、頑張ります。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
2	①私どもが計画いたしましたウクライナの人々に心を寄せるコンサートをやりたいと言って、ここに共催としてお入りいただきたいというお手紙と資料を添えて、秘書課の方をお願いいたしました。それはお読みいただけましたでしょうか。(市長:いろいろお話を伺って、読みました。)それが5月18日のことでございました。そして次の日に、秘書課からお電話いただいて、市長さんは大変お忙しいので、私が代わりにお聞きしますということで、いろいろお話をさせていただきました。丁寧に対応していただいて、とても嬉しゅうございました。それで、なかなか難しいということで23日、共催は難しいんですが、後援に変えられるのはどうでしょうか。それもじゃあそういうふうにしますと、ただちょっと書類を整えるのに、なんせ5月15日の晩から書類を作ったものですから、ちょっと時間かかりまして、26日に提出いたしましたしてコンサートのPRに時間がございませんで、もしご後援いただけるなら、このチラシのところに早く入れたいので、何とか早くしていただけませんかというお話したんですが、結局いただいたのは昨日です。それでもうこれは31日に発注しました、間に合わないのっていうことで。でも、後援いただければありがたいので、後に何とかしてそのことを周知したいということで、昨日はありがたく、お受けしました。で、今日の質問なんですけれども、これは市民一人一人が盛り上がり組んで立っている団体なんです。即席の団体。だから既成のように、会長がいて会則があってどうこうっていう組織ではないんですね。信用できないという、暗に本当にやっていただけるかどうか、そういう団体の実態を知りたいというお話もございましてね。でも、こういうものは、やっぱり市民一人一人の盛り上がりでできていくものですから、ある程度熱意でもって、そういうところは、少し一歩下がって認めていただいて、応援しようじゃないかという、温かい機動力っていうか、それが必要ではないかと私思ひまして、今日はこの点について、ほかにもそういう意識を持って、何とかみんなで市を盛り上げていこうと、そういう団体が発足してきたなら、市の方も全力で応援していただきたいと思うんですね。 ②ありがとうございます。ぜひもう少しスピードアップしていただけたらと思います。	①お話は私も伺っていますし、職員も事業としてはもちろん応援をしたいと思って動いていました。まずお話をすると、共催ってかなりハードルが高いことなんですね。市として共催するのは主催するのと同じですから、もう公式に市としてやりますよと。それはよく、そこには費用も出すこともあれば人を出すこともあったりしますが、まず共催というのを出すことは、ほぼないんですよ、そういう事業が共催になるということは。そこはちょっと申し訳ないですけどご理解をいただきたいと思うんですね。もう一つ加えると、かなり後援名義についても、急いだと、早いと思います。2か月も3か月もかかったならあれですけど、役所の手続きの中で、今のスパンで後援を出したというのは、私も見てましたけど秘書課もできるだけ早く出そうという努力をしていましたので、それがすいませんチラシに入れなかったのはちょっと残念なことだと思いますけれども、応援をしたい事業があるということと、ただ手続きをこう全部飛ばせるかというのはちょっと別の話なんですね。で、今回、もちろん純粋な思いでやられて素晴らしい活動だと思いますけれども、でも、やっぱりいろんなことが今までもあったわけですよ。いい話のようで、でも実際はそうでもないというようなことが、過去いろんなそういう積み重ねがあっってしまったことで、手続きはやっぱりきちんとしてないと、結局市の後援をしたものだから大丈夫だと思ったのに、何かあやしい商品を買わされたとか、そういうことがあってしまっはいけませんので、そんなプロセスは時間が一定程度かかっちゃうということは、ぜひご理解をいただきたいですし、その中でもおそらく異例ぐらいの速さで今回対応をしたということも併せてご理解をいただけるとありがたいなということは思っておりますが、事業としては、もちろん気持ちとしてはみんなすばらしいと思って応援したいと思っていますので、ぜひそれも含めて、まちを作っていく力として繋がりがあっていいと思います。いろんな案件がある中で、やっぱり一定程度は、これはどんな状況であっても、審査であったり確認だったり、どうしても時間がかかってしまうということですね。応援をするしないとは別の文脈だということを、ぜひご理解ください。 ②秘書課も数人で25万人都市の市長副市長の全部の調整も、いろんな後援名義も、ご要望も全部やっていますので、その中では最大限やって、職員は本当に限界まで頑張ってくれてると思っています。すいません、ご理解ください。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
3	つくば市はSDGs宣言されているということで、例えば、具体的に水質浄化とか資源循環で、今つくば市が主に取り組んでいらっしゃる仕事とか、目標があれば教えていただきたいんです。 コンポストもそうですし、林地も何か荒れてきてますよね。そういう森林資源もうまく利用することが、例えば環境保全とか水質浄化に繋がると思っていますので、そういうコンポスター含めて、少し大規模にやっていただければありがたいです。	資源の部分でいうと、どう循環させていくかということについては、かなりこだわってやっているところなんです。それはエネルギーもどう循環させるかということも含めてなんですが、実は今までつくば市、必ずしもこういう分野で特徴立った取り組みをしてきたわけではないというのが正直なところだと思っています。いろんな取り組みあったんですけども、今一生懸命例えば頑張っているところで言うと、その循環の部分でいうと、今新しく給食センターを一つ作ってるんですね。その給食センターを作る際に、私が職員に言ったのは、まさに次の世代に誇れる施設にしようよと。ごみをどう出さないようにしていくかと、というようなことで現地を他の給食センターと一緒に見たりしてですね。コストはプラスになったとしても、その施設では、基本的には、もう水と二酸化炭素にすべて分解できて、残渣を出さないような、ちょっとしたプラントをそこに入れるような計画をしたりしています。そういう取り組みを通じて、循環であったり或いはもうそのごみ全体を減らしていくということであったりと。それからエネルギーの分野でも、例えば今度みどりのに新しい建物を、プールを作るんですけども、建物をつくるというのは当然いろんなものを排出することになるわけですが、そこでも建築研究所の専門家の皆さんにもアドバイスをいただいて、単純な太陽光発電ではなくてコジェネにしていくとか、それをどういうふうに活用していくかなんていうアドバイスをいただきながら、循環をさせていくというような取り組みなどを行って、これから建てる公共施設についてはすべて、そういう環境の基準を内部の中でも、ちゃんと作るということを今してるんですね。どういうことかという、今まではさっき言ったような、例えば給食センターの廃棄をゼロにするような取り組み、コストがかかるから駄目だってふうになっちゃうわけですね。でも、じゃあその分、外部にそのコストを負担させてるだけなわけですよ。それはいけないだろうと。今まで外部にごみだったりCO2という形で出していたものを、内部で引き受ける。そのコストを内部化していく必要があるんじゃないのと、そのためのコストはかけなくちゃいけないんじゃないのという話をして、ただ今までその基準が、どこまでのコストでどれぐらいかけていいってのがあまりなかったもので、それを今作って、市のあらゆる事業の中でそういう基準を入れていくというような取り組みを行っていますので、ぜひいろいろな形でアドバイスを頂けたらと思います。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
4	市の管理の農道のこと、結局担当課がやってくれるってことだったんだけど、結局私みたいに気が弱いとやってくれるまでに3年経っちゃったんですね。やはりこのシステム上、例えば市民の困ってることや訴えがあって、それが変わらない、もしくは見通しが立たないっていう場合には、1年とか2年たったら市長が知ってて、それはもう頑張ってる仕方ないねっていうならいいんですけど、結局担当課がそのまうやむやにしちゃうと、何も変わらないんですよ。実は私1年前に相談センターに相談したんです。だからこのデータっていうのは、相談センターにもあるんですよ。だからそれはやはり、何かその気の弱い人たちでも言ったらちゃんとバックアップできる問題、終わってないのはちゃんともう1回吟味するとか、そういうシステムを少し考えていただければと思います。もう一つは、市の担当課と私のアイデアが違うというときに、私のアイデアにどうしてそれをやらないんですかって合理的な説明がなかったんで、市とか、担当課とか私が意見違うときはどうすればいいんですかって言ったら、広聴室かなっていうことで、だからやはりそういうことは何か次に繋がるので、どうしても納得いかないときは、こういうふうな手続きがありますっていうようなことも、市の職員が言えるといいなと思います。	今お話いただいたような要望がどうなってるかというのは、これも今まで全然そういうシステムなかったんで、新しくちゃんと作ってですね、案件が解決をしているのか、まだやり途中なのか、それともちょっと見通し立っていないのかみたいのが全部わかるようにはなっていて、困った案件については、定例で会議をやっていますので、地区相談センターとも。そういうところで、私が相談センターの相談を受けることもあるんですけども、そこにあがってこないと、どうしても見えなくなってしまう。それでも、必ず難しいような案件で動いてなかった案件なんかも、定期的に地区相談センターの職員見てますし、年に1度は振り返りで、相談を受けて解決した問題と、進んでる問題と、未解決の問題というのを全部一覧に出させてますので。ちょっとすいませんこの案件については、私が昨日お伺いしましたけれども、システムとしてはあるんですね。だから後は、そうは言ってもやっぱり解決できないものもありますので、そういう時にちゃんと話をしたり、広聴室にご相談行くようなこともできるよということは、確かに職員も気をきかせて言えるようにならないといけないなというのは思いました。広聴室ではなく、地区相談センターで解決するのが本来の理想だと思いますので、作っただけで満足してはいけませんので、ちゃんと見ていくようにはしますし、一生懸命やってくれていますし、しっかり道路関係もね。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
5	先ほどの水道事業の、ちょっとだけ補足なんですけど、実は協議会の方で、そういう全体の話については、しかるべき部門の方からお話をしにきて、みんなと討議する場がいいんじゃないのという話が出ましたので、ぜひやりたいと思いますので、まず要望としてよろしく願います。もう一つ、これは現在、信号機の話なんですけども、点滅してる信号機が撤去されるということで、上郷地区の上郷小学校入口になっている権下というところと、それから雷神様に行く金村の十字路の点滅の信号機が撤去されると。理由は部品がないからだという話を聞いておまして、その代わりどうすんだという話を一部お話をさせていただいてるようなんですけども、これも全体の話なので、子どもたち、老人の方々、安心安全をする意味で、それを交通上どうしたらいいのかということで、窓口は市なので、どういった形でやるかっていう相談を含めながら、全体で安心安全の部分も考えながらやっていくのがベストだというふうに思いますし、将来的にちょっと先ほど出た上郷高校跡地に、仮に陸上競技場ができれば、もっと交通量増えますよね。そういった意味でも、我々イベントもいろいろやって、交通上で例えば雷神行くときに、金村の十字路を使うと、そうした場合に、やっぱり非常に危ないですよ。そういう安心安全の部分でのやり方を標識だけでなく、いろんな考え方を持ってどうするのかという課題があるので、ぜひよろしくお願いいたします。	これは非常に大きな課題だと思っていて、今回、信号撤去の話が茨城県警から来たのは、上郷だけじゃなくて、ほかにもですね市内で11か所だったかな、あるんですよ。ちょっと待ってくださいって話で、我々からすると、信号機って一生懸命地元で要望をして、警察に働きかけをして、物によっては10年とか経って設置した信号があつたりするわけですけど、何で減らすんですかっていうと部品の話というのも何か、いや、つくばは他の場所が増えているから減らさないといった話で、ちょっと違うんじゃないですかっていう話だと思うので、県に現状維持の要望書は出しているんですね。本当に危険な箇所とかも、子どもが通学で使ってるようなところも撤去の中に入っちゃって、結構寝耳に水で、なかなかよくないと思うんですよ。よくないと思っているので、つくば署とはよく話をもちろんしていきますし、どうしても撤去するっていうなら、やっぱりその道路構造をどうするのかとか、一時停止線どうするのかとか、あとは、今いろんな形でその交差点の見え方によって減速を促すような取り組みがあつたりとか、いろいろありますので、ちゃんとそういう代替策をやってもらおうということがすごく大事じゃないかなと思っていて、何かこう、研究学園で信号増えたからこっち減らしますとかって、そういう話じゃないんじゃないかなというのは思っておりますので、ぜひ地元からも声を上げていただけると非常にありがたいですし、特に旧筑波地区の方なんかだとかなりありましたんで、そういう声を。警察とはいい関係でやっていますので、ちゃんと話し合いはできる関係にはありますので、そういうことをよく話をしながら、これは本当に命にストレートに関わる問題で懸念しておりますので、ぜひ一緒に頑張ります。よろしくお願いいたします。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
6	上郷跡地問題についてですけれども、陸上競技場が間もなく決定して、できる運びになるということですが、建屋の方は今、水道インフラ、水道関係が地震で壊れて、それを修復するには、1億円相当の金がかかるということで、今上郷高校の建屋の方は全然貸し出してないということなんですけれども、今後の見通しですよね。上郷跡地、運動場の方は、もうこれでいいと思うんですけども、建屋の方をどうするかですね。それで近々、今上下水道を工事してるわけですが、それが来れば、上郷高校の方にも水道が来て、皆様に広く使っていたらいいということあると思いますけれども、市長さんはあれを壊して更地にするのか、それとも閉校してから10年くらい経ってるんですよね。それでその辺をどういうふうに今後していくのか、その辺の見解をお聞きさせていただければありがたいと思って、ちょっと聞きたいと思っています。	(スライドを指しながら) ちょっと見えにくいですが、これが敷地全体ですね。陸上競技場がここで、臨時駐車場にも使える多目的広場というのを用意したいと思ってます。ここ駐車場で、ここにですね、これちょっとまだ決定をしてるわけじゃなくて、セミナーハウスを建てられたらいいなということを考えていて、既存体育館ここなんですけれども、やっぱりこの道路を、道路あるバージョンと道路ないバージョンがあり、やっぱりそれで考えると、既存の建物をどっかのタイミングでは撤去しないと厳しいだろうなということをおもっています。一方で、地域の皆さんが使える場所を増やすというのは、やっぱりすごく大事なことで思っていてですね、まず今考えているのは、メインスタンドがここにはできるんですね、陸上競技場のところに。セミナーハウスはお金もすごいかかるし、いつになるかわかりませんので、そこにある程度、会議室とかを充実させることで、地域の皆さんが、まずはここをちょっとしっかり造ることによって、地域の会議室利用であったりいろんな利用に使えるようにするというのが、一番スピードの面でも、コストの面でもいいんじゃないかなということ、今のところ考えていまして、そういうことも含めて、今年度から来年度まで、時間かかるんですけど、計画作るのって。その整備の基本計画というのを、いろんなご意見を踏まえて、今作っているところですので、そういう中で地域の皆さんがどういうふうにご利用するかとか、それから建物についてもどういう形でいくかという方針が、お示しはできるんじゃないかなとは思っていますので、そのプロセスで、今回ちょっと遅れてしまうというのは、そのプロセスをとにかく丁寧にやりなさいというのが、この大規模事業評価第三者委員会からの提言でしたので、じっくりとお話し合いをさせていただいてですね。早くやれというお気持ちもあると思うんですけど、でもやっぱりそこで丁寧にやらないと、何か地元の声が反映しきれないで、後から、何でこういうふうになかったんだろうとか、こここうすればよかったのにとか、こんなことやればよかったのになってあると思うんですね。それを本当に最小化するためには、話し合いがやっぱり大事だなと思っていますので、ちょっと時間が経って申し訳ないんですが、そういう中で、今のご提案のようなことについても答えを出していければいいなと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
7	つくスマアプリについてなんですけど、つくスマアプリを最近インストールしたんですけど、篠崎から沼崎小の横の辺りを通ってく道路で、結構幼稚園バスとか、でかいトラックみたいのも、結構通っていて、つくスマアプリまだ全部は把握してないんですけど、工事の情報とか渋滞情報があったら便利じゃないのかなっていうのが、最近インストールして思ったことなんですけど。あと、つくスマとホームページどのように使い分けてというか、どう使っていけばいいのかなっていうのが、一応自分の意見です。	すごい良いご提案ありがとうございます。確かに、まだできたばかりで、いまいちなんですけど、工事情報っていう話は今初めてご提案いただいたので、確かにそういうのもあるなと。今グーグルマップ使っているの、それにどう入れられていくかっていうところあるかと思うんですが、例えば、これからやろうと思っているのは、関鉄のバスの位置も今わからないわけですね。ですので、関鉄のバスに発信器をつけて、今どの辺に来てるとか、そういうのとかは、つくバスもちろんですね。今もう行っちゃうかもしれないみたいな、バスを乗るときの不安感とかをなくすために、そういうものなどを入れていこうと思っていたり、それから市民の皆さんがまさに例えばここ工事してるよみたいなのを、例えばここに道に穴が空いてますよみたいなことを市民が写真撮って送ると、すぐ担当課が来て直すとなるような、そういう双方向のやりとりをできるようにしたいと思っています。工事情報が確かにあると便利な気はしますので、ちょっとどうということが可能か持ち帰ってみたいと思います。ホームページとの使い分けというのも、整理していくのは実はまだこれからですね。ホームページはもちろん網羅的に情報を発信するんですけども、大きな違いは、このつくスマというのは、最初にきつと、お住まいの地区とか年齢とかを入れていただいたと思うんですけど、自分が希望する情報を選べるようになってます。ホームページっていうのは自分から必要な情報を探しに行くわけですけども、これは自分のところに必要な通知がピローンと届くようになっていくというのが理想的な形で、例えば、ワクチンの件で自分の子どもの年齢を登録しておいたら、その子どもが例えば4種混合ワクチンというのは大体何歳の時に打つものだから、それが近づいてきたらそこでピローンと通知が来て、そこから医療機関の予約システムまで行けるようにするとかですね。そういうふうに、自分が欲しい情報を手に入れることができると。自分がいろんな情報が欲しければもちろんその分野をたくさん登録しておけばいいんですけども、そういうふうな、自分が情報を取りに行くのがホームページだとすれば、待っていれば欲しい情報が届くというのが、このつくスマアプリの使い分け、あとどういう情報を出していくかはまだ、いろいろ担当者たちも実験しながらということで、もうちょっとこなれてくるまでは時間かかると思いますから、使い分けとしてはそんなことを考えています。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
8	つくば市の景観に関して言いたいと思うんですけど、大型の大通りの交差点、東大通り西大通りなんかもありますし、新たに作ってる大きな道路もあるんですけど、その景観が当初のつくば市って、科学技術都市として、国レベルの設定で作った綺麗な街と、それから従来からある里山的な穏やかな地域、それを融合してるような街だということだったんですけど、最近だんだん人口が増えてきて、西大通り東大通りの交差点のところの、左に曲がるための道のところを、横断歩道があるんですけど、ツツジの植栽があったところを黄色いコンクリートで蓋をしたような、県の土木事務所ですけど、交通安全のためにみたいなことをおっしゃってましたけど、景観上非常に汚れているっていうかですね。つくば市の一つのイメージが、すごく汚されていっているんじゃないかと。さっきの信号もそうなんでしょうけど、県側がやろうとされることが、結構地元の認識と離れてるんじゃないか、或いは新しく作っていく道路なんかについても、従来の景観というか、そういうような都市計画っていうか、そういうものと調和した形でやっていただきたいなというふうに思います。	あの左折のところの、無味乾燥なところは私も最初結構ショックを受けました。県とすれば、見通しの問題で危ないからと、それは確かにわかるんですけども。景観は、実は私がこだわっている大きな分野の一つでして、特に街路樹は、私、街路樹原理主義者みたいな感じで、職員も困ってるんですけども、つくばの景観を何が作っているかっていうと、自然であり、街路樹だということを思っていて、緑をどう管理しながらいかしていくかと。なぜそういうこと言っているかという、新しくできた町には、ああいう景観をつくれないうんですよね。街路樹は時間がかかるから、ちょっと植えても細い木しかできないわけですね。それが20年30年50年と経つことによって、初めて立派な樹木としてまちに風格を与えてくれるものだと思っていますし、実際、例えば車椅子の人が動くときに、日陰も作ることができたとか様々なことがあるわけですけども、地球環境とかですね。ただ実は私が就任した頃に、あの辺の中心市街地の多分そのお住まいの近くだと思えますけど、生えてる街路樹はすべて伐採するような計画だったんですね。もう工事発注してたんですけども、私ちょっと待ってって話をして、一緒に歩いてですね。もう、じゃあこれ残しましょうこれも残しましょうといって、全部基本的に残して、ただ、腐っていて倒れてくる危険性があるものとかだけは切るような方針に変えて、その一つの通りだけで、100数十本切らなくちゃいけないのを、この根腐れしてるような、10本ぐらいで済んだので、全体でいうと、すごい数の木を残せたと思うんですけど、やっぱりそういういろんな努力をして守らないと、景観って維持できないと思うんですね。ですので、そのあたりは、県にも理解をしてもらって、筑波研究学園都市を形づくってきたものが何なのかということも含めて、単にお金の話とか、維持管理費がかかるから云々というだけの話ではないことを、県にもよく伝えていきたいなという事は思っています。ぜひ一緒に声を上げていただければありがたいと思っています。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
9	下水道のこととか、地区ごとの横の繋がりがわかるような仕組みって、市とか市議会とかあるんでしょうけど、我々市民のところでも、よその地区の困ってることっていうのをもっと知らなきゃいけないな、下水道の話ですごくショックを受けて、市の真ん中にいる人間でお役に立つことがあるならば、やらせていただきたいなって強く思いました。ちょっとびっくりしたので、予算なのか、何か土地の問題なのか、何かあるんでしたらまた別のところで聞かせていただきたいと思いました。その横の繋がりを市民レベルでも取れるものってあっていいのかなというのが1点です。 それから、突然県から降ってくるっていうのがうちの地区にもありまして、洞峰公園にグランピングとあれができて、お酒飲んでっていうのが突然降ってきて。私ノンポリなんですけど、地域と市と県と専門家で何とか、真ん中の自然を保全したいという運動を、ここ1か月始めているものです。今日ゆかりの森に来て子どもがちっちゃい時のまんまで残してくれてたんで、本当に豊里の方々の努力を痛切に感じて、つくばの真ん中にいる人間は行政に頼りすぎてきたと深く深く反省してます。でも今から頑張るので、ご協力もいただきたいなと思いますし、また市の方も、おそらくそのさっきの信号とか街路樹とか、県は県のお考えがあると思うんですけども、うまく調整していただきたいし、おそらくこの問題ってつくばだけじゃなくて他の市でも似たようなこと起こってんじゃないかなって思うんですね。その辺は、市長さんたち同士の中でうまく、行政の上下があると私は思ってなかったんですけど、なんかそれっぽいやなものも感じてしまったりするので、やっぱりやっていただきたいなという。いい意味で、横に繋がりたいっていうことと、それから最初キャッチフレーズ、明日が見えるつくばなんですけど、悪い方の明日が見えちゃって、今東京で神宮外苑とかすごいですよ。みんな樹木伐採とか自然が。つくばもそこに名乗りが上がっちゃって、この間もYouTubeで拾われちゃって、いい意味のつくばらしさっていうものから、いろんな意味で、そういうネガティブなところに引かれるのは、広い意味で住民として悲しいので、いい方で世界の明日が見える方に行くようにしていただきたいし、市民もできることをしたいという、何か宣言みたいになってすみません。	本当おっしゃる通りという感じです。洞峰公園の件は、1年近く前ですかね、県から洞峰公園のリニューアルする際に市としてどういう規制かかりますかという照会があったので、宿泊施設は建てられませんか、そういうことをやっていたにもかかわらず、今回の計画が出てきましたので、ちょっと。今いろいろそれについてはお話をしていますので、これから説明会をちゃんとやってもらって、アンケートも、オンライン等も含めてやってもらうという約束していますので、そこでいろんなお声をいただければと思いますが、よその自治体でも同じようなことが起きているのは、それではいけないと思うんですね。我々は住民とともに同じ目線でありますので、また、おっしゃったように県は全然上にはないんですよ。国と地方自治体、県市ってのは全部水平関係というふうに地方自治法が改正されて、2000年にそういうことを明示されてますので、どっちが偉いとかじゃないんですけども。我々が市民とこうやって直接毎日の生活について関わっていますので、やっぱりそれに関わるものについては、ちゃんと県と協議ができるような体制を本当に作らないとねというのは、他の市長とも、或いは他の町の県議さんとかも結構言われてまして、だからあんまりこういうことが続くのもよくないと思っていますので、お互いいい話し合いができて、何かあれば事前に話が来るような体制を、今までやってたんですけど最近そういうことがなくなってきましたので、頑張って作っていききたいと思いますし、地域の情報もいろんな形で発信はしていますけども、さっきの協議会でうれしいのは、今上郷の皆さん頑張ってくださいしていますけども、例えば吉沼という、大穂にも歴史ある地区があるんですけど、そこ上郷が行き来をしたりするようになってきて、なかなか行き来はなかったんですけど、でもこの協議会によってそういう繋がりが生まれてきたりもして、私が目指してるのは、まさに中心部にお住まいの方なんかが、上郷であったり吉沼のイベント等に、普段から顔を出していくような関係性ができていくことで、やっぱり地域への目がまた向いていくんじゃないかななんてことも思っていますし、そうやって何かできることなんていう発想にもなっていくと思ってますので、それはもうぜひ、どんどん我々もそういう情報を共有していきたいと思います。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
10	先ほど道路街路の景観の話と、今洞峰公園の話も出しましたが、私も年取ってきましたんで、あまり市の行政に期待をかけるようなことはしないようにしてるんですけどね。ただ10数年つくばに住んでいまして、明日が見えるまちとお話あったように、どういう明日が見えてくるのかなと。市長さんが先ほど、街路樹原理主義というお話もありましたし、前に別の機会に緑比率のお話も言っておりまして、緑を保全していくっていうのはすごく大事なことだと思うんですよね。つくばの良さっていうとそれが1番か2番かと思うんですよ。ところが最近、どうしても何か開発、経済、そういった方が優先されて、本来のつくばの良さみたいなものが、だんだんこうダウンしてきてるような気が非常に強くするものですから。特に大事な話なんですけどね、太陽光の設備がそこら中にできておりますね。あれは再エネのことを考えますと大変難しい問題なんでしょうけども、何かああいう開発ごとをするときに、もう少し環境との調和みたいなものが取り込めないものなのかなということ、全然ない知恵を一生懸命絞ろうと思っているところなんです。将来のことを考えるとすごく大事なことですけどね。ただ、一辺倒でああいうものになっちゃうと、いずれ廃棄しなきゃいけないときが来ますし、その環境問題に対するインパクトってすごいと思うんですよね。その辺も中長期の課題で、是非ともヴィジョンを持って対応いただけたらなというふうに考えております。	私もその問題もすごく懸念してまして、すごく良好な景観が台無しになってしまうわけですね。で、また数十年後ごみになるわけですから、ちょっと規制をかけられないかという、条例でもっと強い規制で禁止区域とか、例えば筑波山のあたりの景観を守るためとかやったんですけど、どうしても私有財産に対しての制限になってしまうので、憲法上はやっぱ認められないだろうということで、裁判すれば100%負けるような話だったんですね。ですので、今すぐ規制はできないんですけど、やはり国に対しても、もう少し基準を厳しくもって、例えばちゃんと地元の自治体に、どういう相談の形を入れるかと。今だと規模小さいものなんか基本的に何もいらないわけなんです。だから自由にできちゃって、ただ本当にそれでいいのっていうのはおっしゃる通り、中長期的な課題でありながら、すでに今進んでしまってる問題なので、何とかならないかなと。それからソーラーシェアリングというのもかなり大規模にやっていて、これも結構全国各地から注目を、残念ながらそういう意味ではちょっと気になる方の向きで話題になってしまっているんですけども、これも国に働きかけをして、国はそれについては、比較的前向きに考えてくれたりしてるんですけども、やっぱり本当に全体感を持って進めていくことが大事だと思っていますので、そういうお声をいただけるのはありがたいですし、大事にしながら、太陽光だから何でもいよって話じゃ全くないと私も思っていますので、まだ結論はないんですけども、取り組みを継続していきたいと思っています。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
11	私は2年前に、こちらのつくば市に移住させていただきまして、住民の一番多いクレームでよく聞くのが、子どもの声がうるさいとか、子どものボールが当たってしまっって車がちょっとへこんでしまったとか、そういうクレームが多くて、移住して思ったのが、少し子どもの居場所になるところが、どうしても近くに遊べる公園が、広い公園はあるんですけど、子どもの遊べる公園が少ないのかなと思っていて、たまたま集会所に私が子どもたちが帰ってくる下校の時間にいたんですけど、やっぱり子どもたち居場所がないのか、集会所に繋がっているホースを使って、自宅から傘を持ってきて、ホースで水をかけ合いながら遊んでる様子とか、あとピンポンダッシュだったりとか、発散する場所がないのかなと思っていて、何かいろいろな地域の皆さんのお話を聞いていて、これだけ豊かな自然ですとか、子どもの頃から残ってる景観がまだあるっていうお話を伺っていたんで、少し距離はあるんですけども、何かそういったたくさん子どもたち集まってる地域ではあるので、クレームになってしまうのはかわいそうですし、子どもたちがもっと発散できる場所っていうのがあったらいいのかなっていうのは、ブランデさんに公園ができていて、そこにやっぱり一極集中しているようなイメージがあるんですね。だから少し子どもたち発散できる場所があったらいいのかなと、最近思っていることです。	なるほどね。(他の参加者:ぜひ上郷に遊びに来てください。)なんかもうバスで上郷にみんな連れてって、川口公園とか雷神様とか本当おすすめですよねえ。 今さっきもちょっとお伝えしたようにやっぱり駅前とかの人たちに、たくさん周辺地区に来てもらうような流れは作っていこうと思って、今年上郷でスタンプラリーなんかちょっとやったりするんですけど。まあそういった毎日親の送迎ができるわけでもないですからね。つくバスも増やしましたけど。走り回れる公園あんまりないですか。学園の森のところの前まで行くのもちょっと遠いと。ブランデのところの公園は、実は市の土地をブランデに管理してもらうということでお金をかけずにカスミさんが頑張ってくれてるという、結構いいやつなんですけど。子どもたちのエネルギーが発散する場所があることはすごく大事だと思いますし、そういうニーズをなんか上手くこう上郷とかで汲み取って、放課後上郷にみんな連れてっちゃうみたいなことだとか、本当にできたらいいなと。これ別に、例えばみどりのでも同じようなことを私はよく言うんですけど、みどりの学園の子どもたちって、谷田部の街中にあんまり来たことないんですけど、なかなか楽しかったりするんですよ。そういう意味では、あんまり、あの状況でも子どもの遊び場がないんだということは、逆に新鮮なお声としていただきましたので、やっぱりリアルでやってよかったなと思ったんですけど。ちょっと問題意識持ってみますので、それでどういうことができるかとかですね。本当子どもたちがワーツと全身で遊べるような場所にどうつないでいくかみたいなこととかも、考えてみたいと思いますので、それが周辺地区にも繋がればいいし、ちょっとよく分析をしてみます。新しいまち故の課題って感じがしますので、恥ずかしながら、今日その認識は初めて持ちましたので、ちょっと考えていきたいと思います。今日すぐ何かって言えませんが。でも上郷は本気でお勧めです。川口公園とか本当に素晴らしい場所。ぜひ行ってみてください。1日遊べますからね。

タウンミーティング(2022.6.4 開催 場所:老人福祉センターとよさと) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
12	今、学園の森とか研究学園の整備が進んで、周辺市街地とか、周辺地域の活性化が課題になってると思うんですが、それぞれの地域の特色を生かして、つくば市全体がスーパーシティとして活躍していくためには、それぞれの地域がどのような関係性を持つていくことが必要であるか、教えていただきたいなと思います。	スーパーシティって、つくば市全体を幸せにしていけることが目的なんです。その中で、最初はやっぱり、いきなり全部やるわけにはいかないんで、重点地区を決めてるんですね。一つはつくば駅のあたり、もう一つは筑波大学の中、もう一つは筑波山の近くの小田、もう一つは茎崎の高齢化してる団地の宝陽台という地域なんです。そんなことをしたいかという、その一番大きなのは、つくば駅前に新しいまちをそこに作ろうと思ってるんですね。そこでいろいろ実験的な、ドローンでばんばん物運んじゃうみたいな。ちょっと普通だったらできないような危ないことも、新しい街だからそこで試しながら、例えば宝陽台とか小田で実際にどんどん使っていって、またそれを改善して、また真ん中でどんどん、そういうふうな関係性を作りながら、例えば宝陽台なら宝陽台という町を住みやすくしていくということで、なんだ別に駅前に住んでなくたって何にも困らないし、むしろ逆に自然豊かなんじゃない、みたいなことに気づいてもらえるところまで持っていきたいと思ってます、でもすぐはできませんよ。でも、別に駅前に住んでなくたって、上郷で必要なサービス全部受けられる。沼崎で全部受けられるってなれば、そりゃあ上郷沼崎選びますよ。だって豊かですから。だから、ある意味で、このスーパーシティの取り組みというのは、今まで言われてきた周辺部と中心部の格差というものを是正していく。是正していくどころか、将来的には、もううらやましいな、上郷移住しようかなとかですね。沼崎いいなってなっていくようなものであって欲しいわけです。だって、サービス同じで環境が豊かなんだから。実は私がずっと言ってるのは、そういうことなんです。中心部に人とか物とか金を全部吸い寄せる求心力を働かせるんじゃなくて、むしろ中心から外側の魅力ある方に、遠心力を働かせて外の流れを作っていく。黙ってた真ん中って何でも吸い寄せちゃうんですけど、反対の動きを作っていく。それを、しかも自分たちが、ただこんなサービスが欲しいって言うだけじゃなくて、一緒に作っていくような概念を新しくつくば市でクラフトライフと呼んでですね。手作業で何か芸術作品を作ってもいいし、食べ物でもいいですし何でもいいんですけど、町も含めてクラフトしていくようなことこそが豊かな生き方なんじゃないのという提案をしていて、今移住のキャンペーンもそういうふうに、駅前の子育て環境がとかっていう言い方は一切してないですね。そういう町を作ってくれる仲間をふやしていこうと思ってますので、スーパーシティと中心部周辺市街地の関係性っていうのは、そういうふうに理解いただいて。ですからこれからはもう周辺地区の時代が来るというところに、頑張っって持っていきたいなと思ってます。